

第 45 回年会 パシフィコ横浜（神奈川）、2007 年 12 月 22 日（土）

「女性研究者支援プログラム—その理想と現実」

- 1) 「熊本大学の『地域連携によるキャリアパス環境整備』事業について」 糸 昭苑（熊本大学・発生医学）
- 2) 「女性研究者支援プログラム—お茶の水女子大学の取り組みの現状と課題—」 郷 通子（お茶の水女子大学）
- 3) 「男女共同参画学協会連絡会の活動の方向を考える」 美宅成樹（日本生物物理学会）

最近の男女共同参画，機会均等の流れの中，学術分野においても女性研究者支援のためのプログラムが次々と打ち出されている．これは多くの学協会の男女共同参画に対する長年の取り組みの賜物であるが，これらのプログラムが理想とする男女共同参画の姿とはどのようなものであろうか．また，このようなプログラムの実施は現場にどのような変化を与え，それは理想に向けての変化であらうか．本シンポジウムでは最近の種々の女性支援プログラムについて，企画，立案側の意図と現場での問題点を検討し，その実情と今後の方向性について議論してみたい．